

# 走り高跳びロボット競争 補足説明

2009年1月20日

担当：機械工学科 山下淳

## コンテストの前

- ・ 本番前に、コースを用いて十分にテストをしておいて下さい。
- ・ 製作したロボットをデジカメなどで撮影し、最終レポート等で活用して下さい。可能であれば、バーを乗り越えている様子を動画で撮影しておくと思います。
- ・ コンテスト当日の10分の持ち時間の中に、製作したロボットの紹介（動作メカニズムなど）をしてもらいます。プロジェクトとノートパソコンをこちらで準備しておきますので、パワーポイントを使用することができます。パワーポイントを使ってプレゼンテーションをしたい班は、事前に発表資料を作成し、コンテスト当日にファイルを持参して下さい。
- ・ 事前にプレゼンテーション担当、ロボット整備担当、コース変更担当、コンテストの様子を撮影する担当などの役割分担を決めておいて下さい。特にプレゼンテーション担当の人は、事前にしっかりと準備をしておいて下さい。

## コンテスト当日

- ・ 機材の運搬には十分に注意して下さい。
- ・ 跳ぶ順番は当日抽選で決定する予定です。
- ・ 持ち時間は1チームあたり10分間です。この間に、ロボットの紹介と高跳びの両方を行って下さい。
- ・ コンテストには一般の入場者（小学生から大人まで）が来場します。失礼のないように十分に注意して下さい。プレゼンテーション担当の人は、来場者にも分かるような平易な説明を心がけて下さい。

## コンテスト終了後

- ・ 必ず反省会を行い、その内容をレポートに記載して下さい。

## 資料等

- ・ テーマ説明：<http://sensor.eng.shizuoka.ac.jp/~yamasita/lecture/2008/sozo/theme.pdf>
- ・ ルール：<http://sensor.eng.shizuoka.ac.jp/~yamasita/lecture/2008/sozo/rule.pdf>
- ・ 補足説明：<http://sensor.eng.shizuoka.ac.jp/~yamasita/lecture/2008/sozo/note.pdf>

連絡先 機械工学科 山下 淳（機械棟2階205号室, [tayamas@ipc.shizuoka.ac.jp](mailto:tayamas@ipc.shizuoka.ac.jp)）